

城南地区河川流域浸水予想区域図

1. 城南地区河川流域浸水予想区域図について

- (1) この図は、城南地区を流れる渋谷川・古川、目黒川、立会川、内川及び呑川の流域や、雨水が直接海へ排水される区域等を対象として、大雨が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される最大の水深を示したものです。
- (2) 皆様には、洪水の可能性について知っていただくことにより、「緊急時の水防、避難」、「水害に強い生活様式の工夫」等に役立てていただくようお願いいたします。
- (3) この浸水予想区域図は、平成12年9月に発生した東海豪雨が「対象とした地域」に降った場合に、シミュレーションにより予測される浸水の状況を示したものです。シミュレーションでは、対象とした地域における現時点での河川、洪水調節池及び下水道の整備状況等を考慮しています。
- (4) 浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。また、図中の「事業中等区域」は、今後土地の形態等が変化すること等から、浸水状況を表示していません。

2. 基本的事項等

- (1) 作成主体
都市型水害対策連絡会
(城南地区河川及び江東内部河川流域)
- (2) 作成年月日
平成19年7月30日(一部修正)
- (3) 対象とした地域
城南地区を流れる渋谷川・古川、目黒川、立会川、内川及び呑川の流域や、雨水が直接海へ排水される区域等
- (4) 対象とした降雨
平成12年9月 東海豪雨
(総雨量 589mm、時間最大雨量 114mm)
- (5) 関係区市
港区、新宿区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区、三鷹市

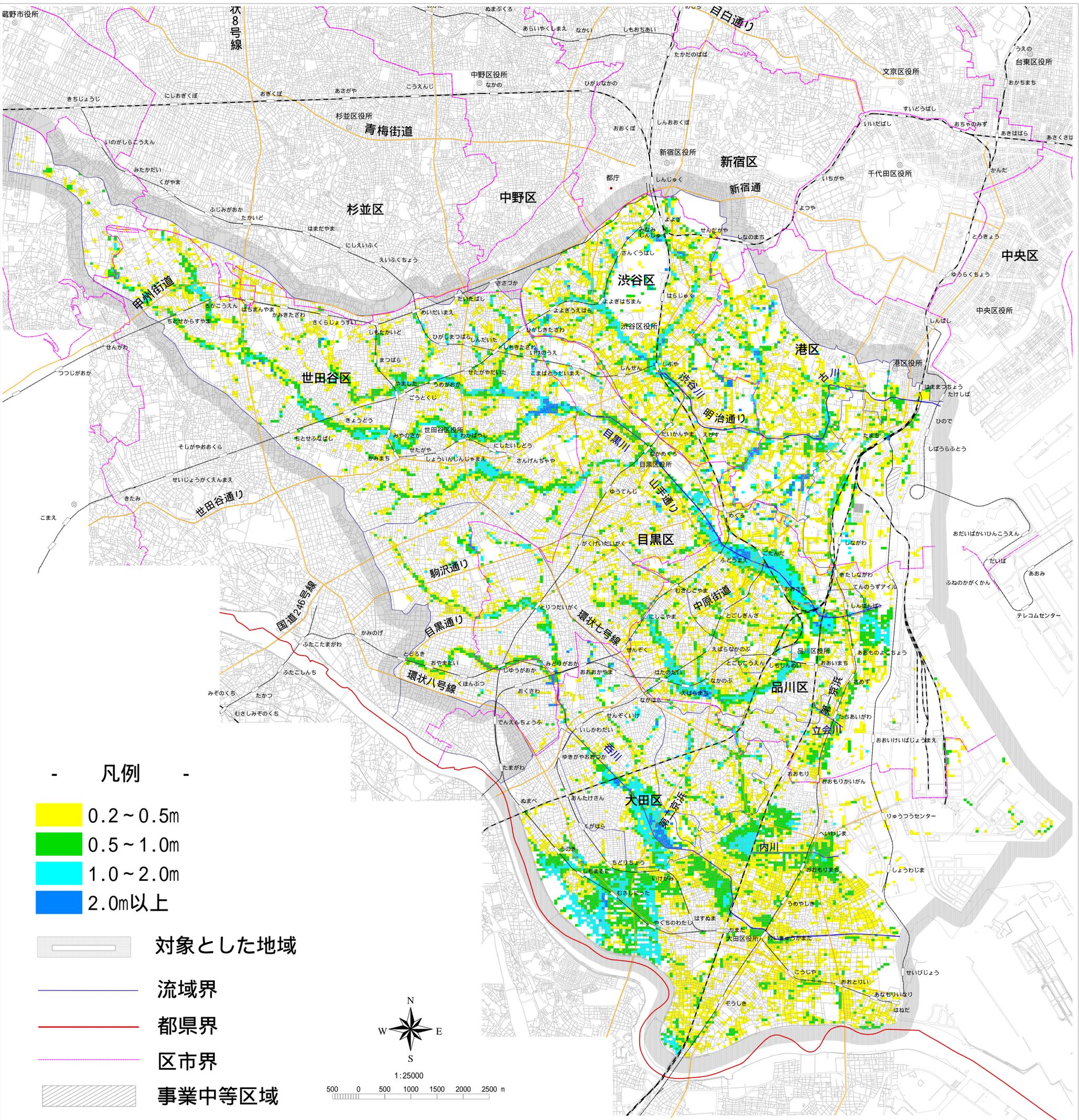
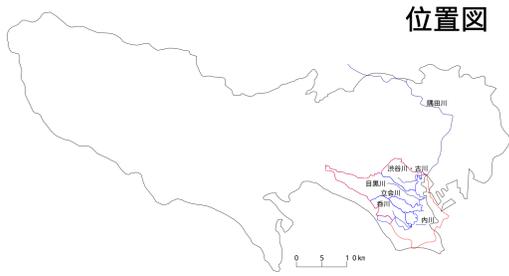
3. 図面の見方のポイント

一般的に河川沿いは低地であるため、浸水したときの水深が大きくなり注意が必要です。また、河川から離れていても、青・緑色で示される場所では、地盤が低いため、浸水したときの水深が大きくなるので注意して下さい。
なお、表示は一边が50メートルのメッシュ(区画)単位になっており、水深はメッシュ内において最大の水深となる地点のデータで表示しています。

【問い合わせ先一覧】

東京都建設局河川部計画課	03(5321)1111 (代)
東京都下水道局計画調整部計画課	"
東京都港湾局臨海開発部開発整備課	"
港区街づくり推進部	03(3578)2111 (代)
新宿区環境土木部道とみどりの課	03(3209)1111 (代)
品川区まちづくり事業部下水道河川課	03(3777)1111 (代)
目黒区総務部防災課	03(3715)1111 (代)
大田区民生生活部防災課	03(5744)1111 (代)
世田谷区危機管理室危機・災害対策課	03(5432)1111 (代)
渋谷区防災担当部防災課	03(3463)1211 (代)
杉並区都市整備部建設課	03(3312)2111 (代)
三鷹市都市整備部緑と公園課	0422(45)1151 (代)

位置図



凡例

- 0.2~0.5m
- 0.5~1.0m
- 1.0~2.0m
- 2.0m以上

- 対象とした地域
- 流域界
- 都県界
- 区市界
- 事業中等区域



1:25000
500 0 500 1000 1500 2000 2500 m